



小さな改善が新たな改善を生む！ ～座金のつかみ方の改善～

新入生S君の改善報告

新入社員S君は、電気メーカーの組立てラインで仕事をしています。その中にボルトに座金を取り付ける仕事がありますが、S君はこの仕事があまり好きではありません。それというのも、座金は小さくて薄いものなので、掴もうとしても旨くつかめず、イライラすることが多いのです。ましてや手袋をしているのでなおさらです。しかしいちいち手袋を脱いでいたのでは仕事になりません。S君は、なんとか簡単に座金をとれるように出来ないかと工夫をしほりました。

改善その1 やり方を変える！

改善とは何かを変えることです。この場合、座金を大きくしたり、厚くすることは勝手には出来ません。そこで座金が入っている容器を、底の緩やかにカーブしたものにやってみました。すると、座金を軽く押さえて滑らせるだけで簡単に掴めるようになりました。

改善その2 材質を変える！

次に、容器の底の材質を変えてみたらどうだろうというアイデアが浮かび、厚めのスポンジに座金を置いてみました。すると、指でクイと押せば座金の一方はスポンジにめり込み、他方の端は空中に浮かぶ。その部分なら手袋をはめた指でも容易に掴むことが出来ました。

改善その3 サイズを変える！

S君は、改善により作業がしやすくなり大喜びでした。そんなある日、スポンジをもっと厚くしたらより掴みやすくなるのではと思い10cm位の厚さのスポンジを、容器の底に取り付けてみました。

すると、もっとすばらしい効果が出てきました。それは「座金を掴まなくてもよくなった」ということです。つまり、スポンジの上にある座金に直接ボルトを差し込むと、ボルトはスポンジにめり込み、座金に差し込まれることになり、後はボルトを斜めにしゃくり上げれば、座金はちゃんとボルトに取り付けられているのです。

改善後

今までの、「座金を掴む」「ボルトに取り付ける」という2つのプロセスを、1回で出来るようになったのです。

業種を問わず実践できる「改善」のステップ

「トヨタに学ぶ改善のプロセス」 セミナー受付中

問合せ先：(有) チーム・ワーカー・コンサルティング事務局
電話 0120-55-8107(ゴーゴーパートナー)
http://www.toh.ne.jp E-mail:net@toh.ne.jp

改善
その1



改善
その2



改善
その3



この改善事例は、S君が発見する前に日常の中でも応用されています。たとえば自動販売機の釣銭受け皿などがそうです。以前のものはコインを掴むのに苦労したが、最近の受け皿は湾曲しており、滑らすことによって釣銭が掴みやすくなっています。

あなたの周りにも、「形を変える」「材質を変える」ことによって改善できることがありますか？